

第3学年
教科別授業概要（シラバス）
今年度の授業の計画と内容

令和7年度
京都市立七条中学校

令和7年度 年間学習指導計画 | 組

☆學習目標

- ① コミュニケーション能力を高め、自他を尊重する心を身につける。
 - ② 社会的生活における自立へのつなぎとなる学習の基礎基本を身につける。
 - ③ 個々の実態に応じたその場その場に応じた課題設定と課題解決に向けた力をつける。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	星本教科書、一般図書、検定本、配布したプリント、その他	持ち物	筆記用具、ファイル 教科に応じた準備物
学習の進め方	1, 一斉授業の中で、必要に応じて声かけをする。 2, グループ別学習による、発達別・課題別による		

☆学習内容について(通年制)

第3学年 国語の学習

☆ 学習目標 ~国語の学習で“めざす”こと

- (1) (知識・技能)
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになろう。
- (2) (思考・判断・表現)
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになろう。
- (3) (主体的に学習に取り組む態度)
言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、日本の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養おう。

☆学習を進めるに当たって

教 材	教科書：国語3年[光村図書] 中学書写[光村図書]	持 ち 物	・教科書/ノート/ファイル ・赤ペン/蛍光ペン
	副教材：漢字練習ノート3年[とうほう] 観点別評価テスト積み上げ(明治図書) すらすら基本文法(浜島書店)		・すらすら基本文法 ・書写(教科書・習字道具)
学 習 の 進 め 方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <p>○漢字スキルの活用、漢字小テストの実施を通して、漢字と語彙力を定着させていこう。</p> <p>○授業のめあて・目標を確認し、学習課題を捉え、読み解き、思考、発表、意見交流、メモを取る等の活動を通して、自分の力を伸ばしていこう。</p> <p>○授業や単元の終わりに、学んだことや考えたことを書いて振り返ることで、理解を深めていこう。</p> <p>○GIGA端末を使い、情報の収集、作成したレポートの保存や交流等を通して学習を深めていこう。</p> <p>《家庭学習》</p> <p>○予習・・・読みない漢字、意味の分からずの語句に印をつけながら、教科書を繰り返し音読しよう。 意味の分からずの語句の意味調べをしておこう。</p> <p>○復習・・・ノートを見直し、授業内容を確認しておこう。 ※ノートの自学欄、自学ノートに学習内容をまとめよう。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>○漢字の読み書きは完璧にしておこう。語句の意味、文法などを徹底的に覚えよう。</p> <p>○授業で取り組んだノート・プリントを参考に、教科書本文を熟読し、内容を理解しておこう。</p> <p>○単元プリントや練習プリント等を有効に活用し、たくさんの問題に挑戦し、問題に慣れておこう。</p>		
学 習 の 留 意 点	<p>○授業中は、よく話し、よく聞き、よく読み、よく書き、前向きな意欲を持って取り組もう。</p> <p>○自分の意見を持ち、積極的に発表しよう。意見交流を活発に行い、自分の考えを発表するとともに、友人の考えも取り入れて、自分の考えをさらに深めよう。</p> <p>○ノートやプリントは黒板を写すだけでなく、先生の説明や発言内容、友人の意見、調べたこと、疑問に思ったこと、気づいたことなども書いておこう。自分にとっての「宝物」になるようなノートを!</p> <p>○課題や提出物は期限を守ろう。</p>		

☆学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって		
月	単元計画	書 寫	試 験	評価観点	評価場面・方法
4	世界はうつくしいと 深まる学びへ 握手		テ ス ト 1	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○漢字を適切に読んだり書いたりして、文や文章の中で使い慣れている。 ○敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 ○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 ○身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。	●言語についての問題 ●漢字小テスト ●書写の作品 ●定期テスト
5	意見を聞き、適切さを判断する 脱得力のある構成を考えよう 学びて時に之を習ふ—「論語」から	文 字 を 使 い 分 け る			
6	漢字に親しもう1文法1書寫1 視野を広げて 作られた「物語」を超えて 漢字に親しもう2 情報社会を生きる 実用的な文章を読もう		テ ス ト 2		
7	書寫とともに俳句の可能性・俳句を味わう報道文を比較して読もう				
9	書寫2 和語・漢語・外来語 いつも本はそばに 私の一冊を探しに行こう 状況の中で 挨拶——原爆の写真によせて		テ ス ト 3	○進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、結論に向けて考えを広げたり深めたりしている。 ○表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。	●発表 ●意見交流や授業での発言 ●ノート・プリントの内容 ●作文や意見文 ●読解問題 ●定期テスト
10	故郷 開き上手になろう 書寫3 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字2 漢字の造詣力 自らの考えを 複数の意見を読んで、考え方 初恋			○文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。	
11	いしにえの心を受け継ぐ 古今和歌集 仮名序 君待つと一万葉・古今・新古今 夏草—「おくのほそ道」から 価値を生み出す		三 年 間 の ま と め	○言葉がもつ価値に気付き、漢字を適切に使い、語句や表現に注意して、文章を読んだり書いたりしようとしている。	●授業に取り組む姿勢(観察) ●ノート・プリントの内容 ●課題や宿題等の提出物 ●定期テスト ●暗唱テスト
12	それでも、書寫を 漢字のまとめ		テ ス ト 4	○文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○進んで読書をしようとしている。	
1	合意形成に向けて話し合おう いつも本はそばに			○日本の言語文化を大切にして、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。	
2	本は世界への扉 未来に向かって			○授業ノートでは自分なりの考え方や学習を深められるようにメモ欄を充実させている。	
3	温かいスープアラスカとの出会い 律儀な桜わたしを束ねないで 三年間の歩みを振り返ろう	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度			

第3学年社会の学習

★ 学習目標社会の学習でめざすこと

- 社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
(資料活用の技能)
- 社会的事象から課題を見いだし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。(社会的な思考・判断・表現)
- 社会的事象についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う
(主体的に学習に取り組む態度)

★ 学習を進めるに当たって

教 材	教科書 歴史 「歴史的分野」帝国書院 公民 「公民的分野」日本文教出版	持 ち 物	教科書 ノート A4ファイル 筆記用具
《確かな学力を身につけよう》			
○授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようにしておこう。			
○目標を持って授業に参加しよう。			
○発問に対して、積極的に考えて見よう。			
○作業を丁寧に行い、資料を使いこなせるようにしておこう。			
○積極的に話し合いに参加し、自分の意見が言えるようにしておこう。			
○学習した内容を全体で発表できるように、日頃からまとめておこう。			
《家庭学習》			
○自主学習プリントを有効に利用し反復学習に努めよう。			
○復習を大切にし、授業でやった内容を家庭で確認しておこう。			
○授業内容を思い出し、自主学習ノートなどに整理しておこう。			
○新聞などを読み、ニュースを見る習慣をつけよう。			
○マイライシードなどデジタル教材を積極的に利用しよう。			
《定期テスト》			
○基礎的な内容や意味をまとめて理解しておこう。			
○授業中で行った内容を振り返っておこう。			
○グラフや表などの資料が読み取れ、地図を使いこなせるようにしておこう。			
○時間内に終われるよう、時間を意識して解答に挑戦しよう。			
○持ち物を忘れずに持ってくるようにしましょう。			
○授業中に考えたことや閃いた内容を授業プリントなどにメモをとるように心がけよう。			
○聞くとき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加しよう。			

★ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試 験	評価観点	評価場面・方法
4	【歴史】 ・近代国家への歩みと国際社会	学 Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ	知識 ・技能	・基本的な語句や内容を理解している。 ・基本的な語句や内容を知識として身につけている。
5	◆学プロ対策授業 学習確認プログラム①(5/16)		思考 ・判断	・発問や質問に対して、しっかり考えている。 ・発問や質問に対して、正しい判断をしている。 ・自分の考えをはっきり示している。 ・学んだことを理解して記述問題や発言に活かしている。
6	・二度の世界大戦と日本 ・現在に続く日本と世界		表現	・定期テストⅠ(6/18~20)
7	【公民】 ・私たちが生きる現代社会 ・現代社会の見方・考え方		・定期テストⅡ(9/18~19)	・学習観察 ・ノート ・レポート ・定期テスト ・小課題
8	定期テストⅠ(6/18~20)		・国民主権と日本の政治	・定期テストⅢ(11/20~21)
9	・国民主権と日本の政治 定期テストⅡ(9/18~19)		・市場のはたらきと経済	・定期テストⅣ(1/22~23)
10	◆学プロ対策授業 学習確認プログラム②(10/10)		・主 体 的 に 学 習 す る 方 法	・国民主権と日本の政治(続) ・国民の生活と政府の役割
11	・国民の生活と政府の役割		・定期テストⅢ(11/20~21)	・定期テストⅢ(11/20~21)
12	定期テストⅢ(11/20~21)		・現代の国際社会と課題	・定期テストⅣ(1/22~23)
1	・国民の生活と政府の役割(続)		・单元のまとめのワークシートの記述等で、学習を振り返り、さらに調べたいことやよく分からなかったことを整理し、これから学習に意欲的に取り組もうとしている。	・学習観察 ・ノート ・レポート ・小課題 ・定期テスト
2	◆3年間の総復習			
3	◆入試対策授業			

第3学年 数学の学習

(1) (知識・技能)
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解することと共に、自称を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
(2) (思考・判断・表現)
数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的に・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

★ 学習目標～数学の学習で“めざす”こと

★ 学習を進めるに当たって

教 材	教科書 未来へ広がる数学3(啓林館) 副教材 よくわかる数学の学習3	持 物	・教科書・副教材・ノート ・数学ファイル・筆記用具
《確かな学力を身につけよう》			
○ 計算問題を反復練習し、早く正確に解く力ををつけよう。 ○ わからない問題でもあきらめずに取り組もう。 ☆ 途中式をしっかり書くなど、考え方の過程を大切にし、表現する力をつけよう。			
《家庭学習》			
○ よくわかる数学・授業ノート・課題プリントを中心に家庭学習を進めよう。 ○ 授業中に間違えた問題を途中式から考えてみよう。 ○ 不得意な範囲の問題は、教科書の例題からやり直してみよう。			
《定期テスト》			
○ テスト勉強は ① 基本の確かめ ② 教科書の例題、問、練習問題 ③ よくわかる数学の学習(副読本) ④ 章末問題 の順番で取り組もう。 ○ 授業で解いた問題は分かるまで反復練習しよう。			
○ ノートを写すとき、必要に応じて色ペンを使おう。 ○ 先生の話や人の発表などは、メモをとりながら聞こう。 ○ わからない問題は必ずそのままにせず、まずは自分でじっくり考え、それでも分からぬ場合は、先生や友達に聞いて、必ず解決しておこう。 ○ 何度も何度も繰り返し問題を解くことで、習った知識を定着させよう。 ○ 問題を解くときは、途中の考え方も書くようにしよう。			

★ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	○式の展開と因数分解	第1 第2 第3 第4 第5	○ 数学的な基礎知識の必要性と意味を考えようとしている。 ○ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり数学的に表現・処理したりする技能が身についている。	●定期テスト ●小テスト ●課題 ●授業での観察
5	○ 平方根			
6				
7	○ 二次方程式			
8	○ 関数 $y=ax^2$			
9				
10	○ 図形と相似			
11				
12	○ 円の性質			
1	○ 三平方の定理			
2	○ 標本調査とデータの活用		○ 自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。 ○ 数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしている。 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考え方を認め、よりよく問題解決しようとしている。	●課題 ●振り返りシート ●授業での観察
3				

第3学年理科の学習

☆ 学習目標 ~理科の学習で“めざす”こと

- (1) (知識・技能)
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
 - (2) (思考・判断・表現)
観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 - (3) (主体的に学習に取り組む態度)
自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

☆ 学習を進めるに当たって

教科書	サイエンス3 啓林館	持物	教科書 筆記用具 ファイル（授業プリント）
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然のさまざまな現象に興味・関心を持とう。 ○ 学習の目標をとらえ、授業は真剣に取り組もう。 ○ 授業プリントは最低限の内容はもちろん、その他わかりやすく工夫して書こう。 ○ 観察や実験の結果をもとに、理由や根拠をはっきりさせ考察しよう。 ○ わからないところは、自分で調べたり、誰かに質問したりして、必ず解決しよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のまとめと復習ノートはその日のうちにを行い、教科書と授業プリントでもう一度見直そう。 (わからないところはそのままにしないでどんどん質問しよう。) ○ 復習プリント集を使って、問題演習にどんどん挑戦しよう。 (同じ問題を繰り返し取り組むことで、理解が深まります。) <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テスト範囲は、テスト10日前くらいには通知します。 ○ 教科書・授業プリントをよく見直し、十分に理解をしておこう。 ○ 問題演習をこなそう。復習プリント集の問題に何回も取り組みましょう。 ○ 学習確認プログラムの問題にしっかり取り組み、入試に備えましょう。 		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、ファイルは必ず授業が始まる前に用意しておこう。 ○ 忘れ物をしないように、しっかり授業の準備をしよう。 ○ 理科室への移動はチャイムの鳴る前に完了しておこう。 ○ 授業は真剣に、集中して、積極的に取り組もう。 ○ 先生や友達の話をしっかり聞こう。 ○ 自分の考えをまとめ、他者を意識してわかりやすく発表しよう。 ○ 実験を安全に行う為に、指示をよく聞いて学習活動を行いましょう。 ○ I C T のタブレットなどの使用は、全員が扱えるようになろう。 		

☆ 学習内容及び評価について

	学習計画			評価に当たって		
月	単元計画		試験	評価観点		評価場面・方法
4	【生命の連續性】 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	1章 宇宙の天体 【宇宙を見る】	○	知識・技能	○観察や実験の方法を正しく身につけているか。 ○図やグラフを工夫して作成することができたか。 ○自然に関するいろいろな用語の意味や観察・実験の方法などを正しく理解し、確実な知識として身につけ、適切に活用することができたか。 ○知識に関する問題を解くことができたか。	●定期テスト ●小テスト ●ワークシート ●単元末課題 (レポート課題)
5			○	○		
6			○	○		
7	【化学変化とイオン】 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	2章 太陽と恒星の動き	○	○	○観察や実験のレポートをわかりやすく工夫して書くことができたか。 ○観察や実験に関する問題を解くことができたか。	●定期テスト ●小テスト ●ワークシート ●単元末課題 (レポート課題)
8			○	○		
9			○	○		
10	【運動とエネルギー】 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり	3章 月と金星の動きと見え方	○	○	○自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。 発言や記述の内容、行動の観察などから状況を把握する。	●定期テスト ●小テスト ●ワークシート ●提出物 ●単元末課題 (レポート)
11			○	○		
12			○	○		
1	【自然と人間】 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境		○	○		
2			○	○		
3			○	○		

令和7年度 第3学年 音楽の学習

☆ 学習目標～音楽の学習で“めざす”こと

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	
(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。	
(2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。	
(3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。	

☆ 学習を進めるに当たって

教材	中学生の音楽2・3上下 中学生の器楽	持物	教科書2冊 ファイル 筆記用具 アルトリコーダー GIGA端末
「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」を通じ、上記の学習目標の達成に向けた授業を行う			
<p>●確かな学力を身につけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考え方やイメージしたことを、音楽を形づくっている要素などの言葉を用いて表現し、他者に伝え、考えを深める。 合唱や器楽演奏を通して、他者と合わせて歌い、奏でる楽しさを知り、ハーモニーの美しさを感じる。 創意工夫を生かした表現を行うため、身体の使い方を学び実践する。 <p>(例) 歌唱【花の街】 めあて：詞や曲の背景を理解し、そこに込められた思いを生かして歌おう。 詞に込められた思いを感じ取り（思考・判断）ふさわしい発声、発音で歌う（技能・表現）</p> <p>鑑賞【能】 めあて：能に親しみ、その魅力を味わおう。 能の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを知り、伝統音楽の意味や役割について考え、話し合う。（思考・判断・表現） 謡う体験を通して、発声方法や言葉の特性をとらえる。（技能・表現）</p> <p>《テスト》 実技テストは授業時間中に行う。 定期テストは年2～3回行う 授業時間内に小テストを行う（聞き取りテストも行う）</p>			
音楽の学習においては「歌唱」や「器楽」そして「鑑賞」「創作」を通して、音楽のもつ美しさ、素晴らしいを感じ取ることが大切です。歌をうまく歌うこと、リコーダーをうまく演奏することだけが音楽の学習ではありません。常に自分の心で音楽と向き合いましょう。さまざまな音楽との出会いが豊かな心を育みます。音楽は、自分を成長させ、生活を明るく豊かにものにすることができます。このような心構えをもって毎回の授業に臨みましょう。			

★ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価観点		評価場面・方法
4	・オリエンテーション ・翼をください ・花	観察	知識・技能 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能があること ・全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技術があること ・音楽の要素、記号、音楽用語の知識があること ・音楽を形づくっている要素や音楽の構造の知識があること ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術とのかかわりに関する知識があること	授業の様子 ワーク 定期テスト 実技テスト 聴取テスト	
5	・花の街	ポート			
6	・ブルタバ	ワーク 定期テスト 観察			
7	・作曲 ・合唱の取り組み	実技 ぶりかえり			
8					
9					
10		ポート 実技			
11	・アルトリコーダー	定期テスト 実技			
12	・世界の諸民族の音楽 ・早春賦 ・能	実技			
1		ポート 定期テスト			
2	・西洋音楽史 ・卒業シーズンの歌	観察	主的 的に 学習 に 取り 組む 態度 ・歌唱・器楽・創作において、知識や技能を生かしながら、ふさわしい表現ができること ・音楽的な見方、考え方を生かして音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞くことが出来るようになること ・表現したいイメージを持ち、構成、音素材の特徴を生かして創作すること	授業の様子 ワーク 定期テスト 実技テスト 聴取テスト 課題プリント	
3					
			主的 的に 学習 に 取り 組む 態度 ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度があること ・課題に積極的に取り組む態度。 ・振り返りなどの課題プリントの内容 ・知識理解・思考判断を生かし 学習を深める力を養う	授業の様子 ワーク 振り返り・課題プリント 定期テスト	

第3学年 美術科の学習

★ 学習目標 ~美術の学習で“めざす”こと

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようになろう。(知識・技能)
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と想像的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的に創造的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになろう。(思考・判断・表現)
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組む態度を培おう。(主体的に取り組む態度)

★ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 美術2・3(光村図書)	持物	・教科書・筆記用具(HB以上の濃さの鉛筆またはシャーペン)・アクリルガッシュセット・その他指示された準備物
《確かな学力を身につけよう》			
☆年間目標→Only one(今まで学んだ技法を駆使して、唯一無二の表現をする。)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えること、メモを取ること、発表すること、相談すること、話を聞くことなどを毎時間の授業を通して頑張ってみよう。 ○ 学習目標をとらえ課題を把握して、創造活動(表現・鑑賞)に取り組もう。 ○ 学んできた知識や技能を使いこなしたり、試行錯誤を繰り返してあきらめずに取り組んだりできるようになろう。 ○ 学習を深めるために疑問や興味をもとに探究していく態度を身につけていこう。 ○ GIGA端末を使って、資料を探したり写真を保存したりして表現や鑑賞を深めよう。 			
《家庭学習》			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で学習したことを振り返ったり、補完したり、次の授業につながることを準備したり、普段から思考する習慣を身につけよう。 ○ 日々の生活の中で感じたことや考えたことを自分の感覚で自由に表現して自分の夢や憧れに近づける感性を磨いていこう。 ○ 身のまわりのものを美しさや使いやすさを感じたり考えたりして、形や色にこだわりを持ち、自分で評価したり選んだりできるようになろう。 ○ 身近に見る自然や風景などを人間の持っている五感(視覚・触覚・味覚・嗅覚・聴覚)を研ぎ澄ませて親しむ機会を意識して多くもとう。 			
《定期テスト》			
<ul style="list-style-type: none"> ○ テスト前に配布する学習プリントから全て出題する。テスト前に学習の時間もとるので、わからないことはその場で質問しよう。実技問題は当日あたふたしないように、あらかじめ学習プリントで練習する。当日、まったく同じ問題が出るので、時間内に表現できるようにしよう ○ 表現や鑑賞の活動も含めた毎時の授業で積み重ねた学習の振り返りをしておこう。 ○ 絵を描く実技問題もあります。授業で使うHB以上の鉛筆やシャーペンを用意してください。 			
学習の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本鈴前に、必要な用具類、作品などを自分の席に用意しておこう。 ○ 普段の準備物は教科書と筆記用具だけですが、アクリルガッシュセットや制作のための準備物など必要な場合は事前に連絡します。 ○ 制作は授業時間内に計画的に完成させましょう。もしできそうになれば相談してください。 ○ 発想のヒントや役に立つ資料は放課後や家庭でも見つかるものです。授業以外でも思考する習慣をつけよう。 			

★ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	鑑賞 オキュラス サンディアゴ・カラトラバ	知識・技能 第2回 思考・判断・表現 第4回 主体的に学習に取り組む態度	○形や色、材料などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、共通点や違いを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 ○受け継がれてきた伝統や、工夫して使われてきた材料や用具の特性を理解している。 ○意図に応じて材料や用具を選び、表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的にあらわしている。	●対話 ●発言やメモ ●技能 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ロイロノート
5	鑑賞 沖縄の伝統文化・美術		○時代を超えた表現の共通点や違いを考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ロイロノート
6	表現 和文様木彫コースター		○自分の感じたことをどう重ねてあらわすかを考えて主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ロイロノート
7	制作 レリーフ		○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品がつくられた背景などをもとに、作者の思いや機能を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ロイロノート
9	表現 地土の風景画 or 静物画 or 生物画 or 空想画 制作 水彩画(半立体彫刻)		○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく鑑賞や表現の学習活動に取り組もうとしている。	●対話 ●発言やメモ ●態度 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ファイル提出 学期に1回
10	鑑賞 若冲の鑑賞 ～その超絶技巧にせまる～		○時代を超えた表現の共通点や違いを考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ロイロノート
11	表現 ユニバーサル デザイン		○自分の感じたことを重ねて表現したり、他の者の表現の意図や工夫を感じたりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。	●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ファイル提出 学期に1回
12	制作 ポスターカラー		○自分の意図が多くの人間に伝わるようなデザインを考え、工夫してあらわす表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ファイル提出 学期に1回
1	鑑賞 ゲルニカ・ピカソ		○自分の意図が多くの人間に伝わるようなデザインを考え、工夫してあらわす表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ファイル提出 学期に1回
2	鑑賞 日本マンガのルーツを探る～鳥獣人物戯画の鑑賞から令和まで～		○自分の意図が多くの人間に伝わるようなデザインを考え、工夫してあらわす表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ファイル提出 学期に1回
3	鑑賞 墓で描く楽しさ・季節感のある暮らしを楽しむ・日本の伝統工芸・日本と世界の文化遺産・地域と美術のつながり 制作 水墨画		○自分の意図が多くの人間に伝わるようなデザインを考え、工夫してあらわす表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ファイル提出 学期に1回

第3学年 保健体育科の学習

☆ 学習目標 ~保健体育科の学習で“めざす”こと

(1) 知識・技能
運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようになるため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるよう。
(2) 思考・判断・表現
運動についての自己や仲間の課題を見出し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えよう。

(3) 主体的に学習に取り組む態度
運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を身に付けよう。

☆ 学習を進めるに当たって

教教材	・新しい保健体育（東京書籍） ・新版中学体育実技2019（Gakken）	持物	必ず持つもの：教科書、ノート、学習カード、筆記用具、学校指定の体操服 必要なもの：水筒、汗拭きタオル、水着、柔道着
《確かな学力を身につけよう》			
<ul style="list-style-type: none"> ・知識を生かした運動技能の習得や知識を生かした生活行動、生活習慣の改善など、知識と実践を結び付けて理解すると同時に振り返りを大切にし、学んだことの価値を実感しよう。 ・学習カードやGIGA端末などを活用して学習の記録を振り返り、学び方を修正しよう。 ・独りよがりではなく、仲間と教え合い、ともに上達し、ともに楽しむことができる授業を目指そう。 ・自身の能力に応じて運動やスポーツに関する方法を見つけ、実践しよう（する、みる、支える、知るなど）。 ・自他の安全を大切にし、用具の使用法や配置、片付け、運動をする際の方向や間隔、開始のタイミング、ルールの遵守など安全確保を常に意識しよう。 ・見学に際しては、話し合いに参加することや友達に助言をすること、審判をすること、授業内容をメモに残すことなど、できる限り授業に参加し、学ぶ姿勢を大切にしよう。 			
《GIGA端末の活用》			
<ul style="list-style-type: none"> ・運動技能の習得に際して、運動の自己観察や他人観察の結果を有効に活用する手立てとして活用しよう。 ・課題解決に資する情報を収集したり、比較したり、最適な解決方法を考えるために活用しよう。 ・身に付けた知識や技能を実生活に生かすための活用例を調べる際に活用しよう。 			
《家庭学習》			
<p>学習内容を実生活に生かしていく。例えば、健康と環境の関わりから自身の生活を改善することや感染症などの予防のために生活行動を改善すること、スポーツを文化として捉え、日常の中で文化的なスポーツ実践を試みることに取り組もう。適宜、レポートに実践状況をまとめよう。</p>			
《定期テスト》			
<p>授業で取り上げた内容について、それらの意味の理解にとどまらず、状況に応じて適切に活用できるかを確認しよう。また、授業で取り上げた内容を自身の生活の改善に適切に生かすことができているかを確認しよう。授業で配布したプリントや板書内容を中心に振り返ろう。</p>			
《学習の留意点》			
<ul style="list-style-type: none"> ・ベルと同時に授業を開始することができるよう更衣や移動を済ませよう。 ・準備・片付けも授業に含まれることを理解し、全員が協力し、スピーディーに行おう。 ・健康上留意してほしいことを事前に教師に伝えるなど、自身の心身の安全確保に努めよう。 			

学習内容及び評価について

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	4~7月	②	知識・技能	【知識】 ・定期テスト ・ノート ・学習カード ・レポート
5	集団行動		知識・技能	《知識》 運動の特性、成り立、ルール／技術の名称／技術の行い方／伝統的な考え方（武道、ダンス）／その運動をすることで高まる体力／健康・安全の留意点／体育理論に関する内容
6	体つくり運動		知識・技能	《技能》 基礎的な技能（個人、集団）／自分の能力や体力に応じた技能／自分や仲間、チームの課題を解決する助けとなる技能
7	ダンス 球技I 水泳（クロール、平泳ぎ）		知識・技能	【技能】 ・実技テスト ・ブレイク中の様子 ・ロイロノート
8	8~10月		思考・判断・表現	思 考 ・よりよく運動に取り組むために自分（や仲間）の課題を見つけている／見つけた課題を解決するために運動の取り組み方を工夫している／目的に応じて運動の組み合わせなどを工夫している／課題の解決について自分や仲間が考えたことを伝えている
9	陸上競技（短距離、リレー）		思考・判断・表現	・定期テスト ・ノート ・学習カード ・レポート ・発言内容・学習への取り組み方
10	器械運動 柔道		思考・判断・表現	・ノート ・学習カード ・レポート ・発言内容 ・学習への取り組み方
11	11~12月	④	知識・技能	【知識】 ・定期テスト ・ノート ・学習カード ・レポート ・発言内容・学習への取り組み方
12	陸上競技（長距離走）		知識・技能	課題の解決に向けて、粘り強く試行錯誤しながら学習に取り組もうとしている。 《積極性・自主性》 その運動から得られる楽しさや喜びを捉え、それらを味わおうとしている／準備物や提出物の忘れない／準備・片付けに協力し、貢献しようとしている／「めあて」達成に向けた種々の学習活動に意欲的に参加し、貢献しようとしている 《協力・責任・共生》 自分が受け持った役割を果たそうとしている／教え合いや助け合いなどを大切にし、お互いに気持ちよく学びを深められるようにしようとしている 《公正》 ルールやマナー、フェアプレイを守ろうとしている 《健康・安全》 準備運動や整理運動を入念に行おうとしている／自分や仲間の体調の変化に気を配ろうとしている／用具の扱いや設置、運動する場所（間隔）など安全に気を配ろうとしている
1	1~3月		知識・技能	・ノート ・学習カード ・レポート ・発言内容 ・学習への取り組み方
2			知識・技能	
3	球技II		知識・技能	
※保健「健康と環境」及び「健康な生活と疾病の予防③」は、各学期に適切なまとまりをもって配当する。また、体育理論（文化としてのスポーツの意義）は、各学期数時間程度ずつ配当する。				

第3学年技術・家庭科（技術分野）の学習

★ 学習目標～技術・家庭科（技術分野）の学習で“めざす”こと

- (1) 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技術を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できるようになろう。（知識・技能）
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けよう。（思考・判断・表現）
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造していく態度を培おう。（主体的に学習に取り組む態度）

★ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 新しい技術・家庭科 技術分野（東京書籍） 授業配布プリント	持物	・教科書 ・筆記用具、GIGA 端末 ・ファイルなど
《確かな学力を身につけよう》			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書や資料を使って学習する場面では、しっかりと聞きましょう。 ○ 授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようになります。 ○ 説明など聞いたことを、作業の中で生かしていきましょう。 ○ けががないよう十分に注意しましょう。【安全第一】 ○ 作品を必ず提出してもらいます。最後までやりきろう。 ○ GIGA端末を使って、資料を探したり写真などを保存したりして理解を深めよう。 			
<p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で学習したことを、家庭等での生活の中で役立て実践しよう。 ○ 日常で行っている行動の中に、技術で教わった学習を生かそう。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書と学習プリントをしっかりと復習しておきましょう。 ○ 授業中に行った作業の内容をしっかりと覚えておこう。 ○ 定期テスト対策プリントを上手に活かして学習していきましょう。 ○ 授業で配布した学習プリント類は、ファイルに忘れず綴じておこう。 			
<p>○ 忘れ物・ベル着ができないと授業に支障が出ます。注意しましょう。</p> <p>○ 聞くとき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加しよう。</p> <p>○ 班の中で、一緒に考えたり協力したりして、良いものをみんなでつくりあげよう。</p> <p>○ 作業をとおして、知識もしっかりと身につけよう。</p> <p>○ 作品の完成が、第一目標です。必ずやりきろう。</p> <p>○ 習ったことは、生活に役立つよう、つなげていけるようにしていこう。</p>			

★ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	・双方性のあるコンテンツのプログラミングについて理解しよう。	知識・技能	○双方性のあるコンテンツのプログラムを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認等ができる技能を身に付けています。	●授業プリント ●プログラム ●作品 ●定期テスト
5	・Smalluby のプログラミングソフトを使って簡単な防犯システムを作ろう。		○計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認等ができる技能を身に付けています。	
6			○生活や社会、環境との関わりを踏まえて、情報の技術の概念を理解している。	
7				
8	・計測・制御の仕組みを知ろう		○入力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	●授業プリント ●プログラム ●作品 ●定期テスト
9	・プログラムの役割について考えよう		○情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	
10				
11	・計測・制御のプログラム作ろう			
12	・統合的なプログラミングの問題の解決をしよう		○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	●授業プリント ●プログラム ●作品 ●定期テスト
1	・設計・プログラムを作ろう			
2				
3				

第3学年技術家庭科（家庭分野）

☆ 学習目標～家庭科の学習で“めざす”こと

- (1) ・食事が果たす役割、中学生に必要な栄養、健康による食習慣、中学生に必要な栄養を理解して、食品や用具の安全・衛生な使い方、材料に適した加熱調理を実践できる技能を身に付ける（知識・技能）
 - ・幼児の発達と生活の特徴、子どもが育つ環境としての家族の役割、幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解しよう。
 - ・購入方法や支払い方法、売買契約の仕組みや消費者被害とその背景や対応、消費者の権利や責任について理解し自分の家族や社会に及ぼす影響について理解している。（知識・理解）
- (2) ・幼児のおやつ作りの調理計画について問題を見いだして課題を設定し、調理計画について、実践・評価・改善している（思考・判断・表現）
 - ・幼児とのかかわり方について考え、工夫し、ふれあい活動を実践・評価・改善できる（思考・判断・表現）
 - ・物資・サービスの選択・購入・自立した消費者としての消費行動についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している（思考・判断・表現）
- (3) ・よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理について、生活を工夫し、実践しようとしている（主体的に学習に取り組む態度）
 - ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し改善し、実践しようとする（主体的に学習に取り組む態度）
 - ・よりよい消費生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について工夫し、創造し、実践しようとしている（主体的に学習に取り組む態度）

☆ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 ノート 授業配布プリント	持物	・教科書・筆記用具 ・ファイルなど
	《確かな学力を身につけよう》		<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭科に興味を持ち、前向きな姿勢で授業が受けられることが最も大切です。 ○ 技術家庭科のテーマは自立と共生です。授業で学んだことを生活に生かしていきましょう。 ○ 製作・実習ではけががないよう十分に注意しましょう。 ○ 製作や実習は家庭科の楽しみでもあります。前向きに粘り強く取り組みましょう。 ○ G I G A 端末を使って、学習を効率よく進め、周囲の人と交流したりすることで、自分の学習を深めましょう。
学習の進め方	《家庭学習》		<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で学習したことを、家庭等での生活の中で役立て実践しよう。 レポート課題や実践課題もあります。
	《定期テスト》		<ul style="list-style-type: none"> ○ ノート、教科書、プリントをしっかり復習しておきましょう。 ○ ロイロノートに資料があれば、それも見ておきましょう。 ○ 授業中に行った作業の内容を確認しましょう。 ○ 授業で配布した学習プリント類は、ファイルに忘れず綴じておこう。
学習の留意点			<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の用意を忘れずに持ってきましょう。ロッカーに置いておいてかまいません。 ○ 聞くとき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加しよう。 ○ 班の中で、一緒に考えたり協力したりして、良いものをみんなでつくりあげよう。 ○ 実習では手を動かし、感覚を磨くことも大切です。失敗を恐れず挑戦しましょう。 ○ 習ったことは、生活に役立つよう、将来にもつなげていけるようにしていこう。

☆ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	消費生活 購入方法や支払い方法 売買契約	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解している。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 	●ノート ●プリント ●定期テスト ●確かな技能 ●製作品 ●ロイロノート
5	消費者被害の背景と対応 物資・サービスの選択 消費者の権利や責任	テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達・遊びの意義・育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児が育つ環境としての家族の役割、幼児との関わり方について理解している。 ・購入方法や支払い方法、売買契約の仕組みや消費者被害とその背景や対応について理解している。 ・消費者の権利や責任について理解し自分の家族や社会に及ぼす影響について理解している。 	
6	消費生活が家族や社会に及ぼす影響	知識・技能		
7		テスト		
8		思		
9	子どもにとっての家族 中学生にとっての家族 協力し協同する家庭生活	考 ・ 判 ・ 表 ・	<ul style="list-style-type: none"> ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意しながらグループで協力して、工夫しながら調理実習することができる。 ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、関わり方の工夫ができる。 ・幼児との関わり方について実践を評価・改善しており、論理的に表現しようとしている。 ・物資・サービスの選択・購入・自立した消費者としての消費行動についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを見理的に表現している 	●ノート ●プリント ●レポート ●ロイロノート ●製作品 ●定期テスト
10		断 ・ 表 ・		
11		テ ス ト		
12	幼児とのふれあい活動	主 ・ 体 ・ 的 ・ に 学 ・ 習 ・ に 取 ・ 組 ・ む ・ 態 ・ 度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理について、主体的に取り組もうとしている。 ・日常食の調理について、生活を振り返って改善しようとしている。 ・幼児との関わり方について問題を見いだして、課題を設定し、解決策を構想し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい消費生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について工夫し、創造し、実践しようとしている 	●観察 ●ノート ●プリント ●レポート ●ロイロノート
1	調理実習			
2	家庭分野3年間の総まとめ			
3				

第3学年 英語の学習

☆学習目標

(1) (知識・技能)

- ①現在完了形、後置修飾、仮定法などに関する事項を理解できる。
- ②日常的・社会的な問題に関して、短い説明の要点を捉えることができる。そのような話題について、簡単な語句や表現を使って自分の気持ちや考えを口頭や文章で伝えることができる。

(2) (思考・判断・表現)

- ①日常的・社会的な話題について簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。
- ②日常的・社会的な話題について事実や自分の考えたこと、感じしたことなどを整理し簡単な語句や文を用いて伝えたり相手からの質問に答えたりすることができる。
- ③日常的・社会的な話題について事実や自分の考えたこと、感じしたことなどを整理し簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。
- ④日常的・社会的な話題について事実や自分の考えたこと感じしたことなどを整理し簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。

(3) (主体的に学習に取り組む態度)

- ①外国語の背景にある文化や社会的な問題について興味を持ち、理解を深めることができる。
- ②話し手聞き手に配慮しながらまとまりのある英文で書かれたものを読んだり聞いたりして自分の感じたこと、考えたことを伝えあおうとしている。

使用教材	教科書 NEW HORIZON English Course 3 (東京書籍) 副教材 Joyful Work Book (新学社)	持ち物	教科書 ワーク ファイル
学習の進め方	<p>《授業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○積極的に挙手や発言をして能動的に授業に参加しましょう。 ○間違えることを怖がらず積極的に英語を使いましょう。 ○ICT機器を活用することで様々な言語活動に取り組みましょう。 ○書き手の意図を理解し抑揚や感情に注意して英文を音読しましょう。 ○振り返りシートは毎回の授業や単元を通してできるようになったことなどを具体的に記録し忘れずに提出をしましょう。 ○パフォーマンステストにも備えて各単元の言語活動に積極的に取り組みましょう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○復習としてワークを使用し単語や表現を覚えましょう。 ○音読テストやパフォーマンステストに備えて練習を重ねましょう。 ○毎回の単元テストの準備もしっかり取り組みましょう。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の内容を理解しておきましょう。単元テストも見直しておきましょう。 ○学んだ文法事項を使って自分自身のことについて表現する練習をしましょう。 ○ワークを何度も繰り返し復習しましょう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○英語でのペアワークやグループワークなどの活動に積極的に取り組みましょう。 ○教科書の文をしっかりと理解して、英語を話す活動や書く活動に生かしましょう。 ○ワーク振り返りシートなどの提出期限を必ず守りましょう。 ○授業以外の時間でも間違いを恐れず積極的にALTに話しかけましょう。 		

☆学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価の場面・方法
4	Unit0 Discover a New Side of Classmates Unit1 What is special about Japanese pop culture? Real Life English1 Learning Japanese in English Unit2 How do you choose your clothes? Real Life English2 Grammar for Communication1	テ1	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本文の形意味用法に関する知識を身につけている。 ○ 場面や状況にふさわしい基本的表現を知っている。 ○ 現在完了形や後置修飾、仮定法などを用いた文の理解のもとに、社会的な話題についての短い説明の要点を捉えることができる。
5	Unit3 How can we save animals? Real Life English3 Learning Science in English Grammar for Communication2 Stage Activity1 Discover Japan	テ2	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい英語の発音やイントネーションや区切りを用いて話すことができている。 ○ スピーチや発表の内容を相手に伝えるために工夫をして、伝わりやすいようにしている。 ○ まとまった文章を読んで場面の変化や登場人物の心情などを理解できる。 ○ 海外の文化や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、読み取ったこと感じたことを簡単な語句や表現を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。また、そのような状況で簡単なやりとりができる。
6		テ3		
7		テ4	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外の文化や社会的な話題に対して興味を持ち、理解を深めようとしている。 ○ 相手からの質問に対して適切に対応したり、質問するために、主体的に英語を用いて自分の感じたことや考えていることを伝えようとしている。
8	Let's Read1 A Mother's Lullaby Unit4 How can we help each other in a disaster? Real Life English4 Learning Art in English Unit5 What makes a good leader? Real Life English5 Grammar for Communication3 Stage Activity2 My Activity Report Unit6 What does it mean to be a global citizen?	テ5		
9				
10				
11				
12				
1	Let's Read2 Power Your Future Let's Read3 Coloring Outside the Line3年間の総復習① 入試問題の実践練習① 3年間の総復習② 入試問題の実践練習②	テ5		<ul style="list-style-type: none"> ○ ジョイフルワークや他の学習のプリントやレポートに、自分の学習の役立つ説明を工夫して付け加えているか。自ら疑問に思ったことに対して、主体的に調べて知識を得ようとしているか。
2				
3				